

国際自動車整備科		2023年度 授業計画			
時期	1年後期	単元	実習	教科名	シャシ実習 3
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	三級自動車シャシ 整備機器		発行日 2020年11月25日
総時間	20時限(32時間)				教科担当 教科担当
1. 実務経験のある教員による授業科目 <span style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px;">該当</span> 非該当					
自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解・組立・点検等について指導する。					
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)					
自動車整備士の学習に必要な基礎知識、技術を指導する					
3. 授業の到達目標 (この授業を学ぶことで学生は何を理解し何が出来るようになるのか)					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自動車整備に必要な用語を知る</li> <li>2. 自動車整備に必要な部品名称を読むことができる</li> <li>3. 自動車整備に必要な部品の作動を実物で確認する。また、作動を日本語で説明できる</li> <li>4. 自動車整備に必要な整備機器の取り扱いができる。</li> <li>5. 自動車整備士として必要な安全知識を得る。</li> <li>6. 自動車整備を行う上で必要となる協力作業を理解する。</li> </ol>					
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)					
実技試験で60点以上を合格とする。					
5. 準備学習					
毎回の授業開始前までに、授業で進む予定のところまでルビを振るなど、声を出して読めるようにしておくこと					

時 期		1年後期	単元	実習	教科名	シャシ実習3	
6. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)						7. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容					資料、備品類	数量
1	■クラッチの構造・理解					テキスト	
2	■クラッチの構造・理解					・三級自動車シャシ	
3	■クラッチの構造・理解					・整備機器	
4	■クラッチの構造・理解						
5	■マニュアルミッションの構造・理解						
6	■マニュアルミッションの構造・理解						
7	■トランスミッション分解						
8	■トランスミッション分解						
9	■トランスミッション分解						
10	■トランスミッション分解						
11	■トランスミッション分解						
12	■トランスミッション分解						
13	■トルクと変速比						
14	■トルクと変速比						
15	■トルクと変速比						
16	■トランスミッション組付け						
17	■トランスミッション組付け						
18	■トランスミッション組付け						
19	■トランスミッション組付け						
20	■実習テスト						

■ : 対面授業

国際自動車整備科

## 2023年度 授業計画

時期	1年後期	単元	実習	教科名	シヤシ実習 3
----	------	----	----	-----	---------

## 7. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	トランス・ミッション移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>重量が重い (60 kg) のので移動は2人作業で行う。無理をして1人で持たない</li> <li>ミッション外周、角が鋭くなっているため、手を滑らさないように注意する</li> <li>安定が悪いので作業台に乗せたとき、転落を防ぐ措置を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業台での移動中台上でミッションが転がり下腹部を作業台との間に挟んだ。</li> <li>TM作業台上で移動したとき後端部の円筒状の薄鋼板で切創。</li> <li>TMを1人で収納しているとき、他のTMのエッジ部で切創。3針縫合。</li> <li>トランスファーを運搬しようと手を滑らせた親指4針縫合、人差指3針縫合</li> <li>ミッションを入替え中に運んでいたミッションが落ちそうだったので逃げたがコンバーターハウジングのエッジで指を切創。2針縫合</li> </ul>	
2	プレス作業	<ul style="list-style-type: none"> <li>プレス機操作は、教員指示に従う。</li> <li>指示された部品が確実に外れているか確認の上、プレス操作を行う。</li> <li>プレス機へのセッティングは確実にを行う。</li> <li>プレス操作時、圧力計に注意しながら、圧力を掛け過ぎないように注意する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>TM分解中にメインシャフトをプラスチックハンマーで叩いているとき、手が滑ってハンマーが他の学生の後頭部を直撃した。</li> <li>ワークテーブルの高さ調整時、上下操作ハンドルがはずれワークテーブルが落下した。このとき受台との間に手を挟んだ。爪の剥がれ、切創。</li> <li>部品外し忘れの上、圧力計への注意不足により、高圧力によるプレス作業にて部品破損。飛び散った部品による怪我。</li> </ul>	
3	TM内部分解作業	<p>TM内部分解作業時、ギヤ部が鋭利なため取り扱い注意。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイナルドライブ分解中にリテーニングピンをプライヤーで引き抜こうとしたとき、プライヤーがあごを直撃した。手が滑った。</li> <li>メインシャフトのロックナットを緩める際、アダプターに工具を装着せず、緩んだ勢いでギヤに手をぶつけ4針の怪我</li> </ul>	

## 8. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場	座学教室